平成２３年度　地域活性化事業交付金　交付決定事業実績　【光が丘地区】

平成24年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業実績の概要				交付決定	交付金額
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価	年月日	（単位：円）
光が丘福祉の里づくり推進委員会	若者世代の地域活動への参加促進事業	当地区は65歳以上の高齢者の割合が24．5%と、市内でも1，2を争う高齢者率となっている。その中にあっても、毎年開催している「光が丘地区ふるさとまつり」に代表されるように、地域住民のつながりは極めて強く、そういうこともあって「福祉コミュニティ形成モデル事業」においては市内のトップをきって実施された経緯もある。しかしながら、このコミュニティの持つ強みも、次の世代に引き継がれていかなければ、益々進行していく高齢地域の将来が危ぶまれる。そこで、継続的に若者世代が地域の活動に参加することを促進しようというのがこの事業の目的である。	地域事業活動への若者世代のボランティア参加を推進。対象事業数：10。事業への対象者参加総数：181人。各事業での内訳は下記。 ①車いすペタンク講習会(4月　8人) ②子育てほっとサロン(7月　7人) ③ふるさとまつり(8月　18人) ④車いすペタンク講習会(9月　7人) ⑤お年寄りのつどい(10月　40人) ⑥淵野辺保留地清掃(10月　12人) ⑦こどもまつり(11月　17人) ⑧わが町フェスタ(11月　61人) ⑨陽光台公民館まつり(3月　5人) ⑩光が丘公民館まつり(3月　6人)	地域内および近隣の学校に通学する若者と、地域に居住する若者に地域活動に参加する機会を継続的に提供することができ、次のような効果が出ている。 ①地域活動参加者の世代層に幅ができ地域の各事業が活気あるものとなっている ②若者世代と地域社会のつながりが強まってきている ③地域と学校の関係がより密接になった	①昨年度にスタートした本事業を今年度はさらに加速し、年間のべ人数で200名近い若者が地域活動に参加できており、当初のねらい通りの成果を出している。 ②在学中に活動した若者が卒業後も積極的に地域活動へ参加し、若者世代参加の土壌づくりが進んでいる。	H23.6.1	602,000
さがみパークゴルフ愛好会	パークゴルフ普及活動推進事業	パークゴルフは、ルールが簡単で身体にも負担をかけない運動であるため、世代を問わず楽しめるスポーツである。このパークゴルフを地域に普及することにより、高齢者の健康増進や世代間交流の促進など、様々な地域課題の解決の一助とする。	パークゴルフを通じて、地域の健康づくりとコミュニテュイづくりを進めるため、次の事業を実施した。 地区内の行事への協力　3回 体験教室の開催　4回 会議の開催　16回 指導者研修会　30回	光が丘地区の行事へ協力することにより、幅広い世代へパークゴルフを体験していただくことができた。 また、和泉短大との連携が図られたことにより、地区内で定期的に事業が展開できるようになった。 こうした取り組みを進めた結果、より多くの方にパークゴルフの魅力を伝えることができた。	パークゴルフを通じて、地域団体との連携を深めることができた。 また、地区内の競技人口も着実に増加しており、少なからず、地域の健康増進と仲間づくりに貢献できたと考えている。	H23.7.1	304,000
光が丘わが町フェスタ実行委員会	光が丘わが町フェスタ	公園という多くの人が集まる場で、地域団体のPRや来園者との交流を図ることにより、新たな活動の担い手の発掘、今後のまちづくりに活かせる情報の収集、地域団体間のネットワークの強化などを促進する。	淵野辺公園及び由野台中学校で次の事業を実施した。 ・地域活動団体PRコーナー、ステージ発表、模擬店の設置 ・ペタンク、パークゴルフコーナーの設置 ・少年野球教室、少年サッカー教室の開催 ・各種遊具の設置	光が丘地区で活動する公共的な団体が協働して、ひとつの事業に取り組んだことで、団体間のつながりが深まった。 今年度は、防災、ニュースポーツ、復興支援などいくつかのテーマをもって取り組みを進めたことにより、イベントそのものにまとまりが生まれ、さらに、各テーマに関する住民の意識も高められたと考えている。 さらに、今年度は全市レベルの団体や地区外の団体にも参加を呼びかけ、ご協力をいただけたことで、より広範なネットワークの構築が図られた。	第１回の反省を踏まえ、内容の改善を図りつつ事業を拡大できたことは、今後の光が丘地区のまちづくりを考える上でも、大きな収穫であった。 また、参加団体の活動事例紹介やアンケート調査を実施したことにより、一般来場者にも、少なからず、地域活動に関心を持っていただけたと考えている。	H23.7.1	2,094,000
							3,000,000